

地方公共団体における人権教育事業の実施状況に関する調査研究  
事例調査票

様式2

(財)人権教育啓発推進センター

実施自治体・担当課（連絡先）	兵庫県教育委員会事務局人権教育課指導係 電話： 078-362-3793
----------------	---

1. 概要

事業名	人権文化交流大会
主催（共催）	兵庫県教育委員会
実施年月日・実績等 *回数・参加人数・作成部数等	平成17年2月25日（金）10:30～16:00 1回 125名
開催場所	兵庫県立のじぎく会館
対象	・学校教育・社会教育関係者等 ・市郡町組合教育委員会及び市町部局の人権教育・啓発担当者 ・教育事務所人権教育担当者 ・県民
人権課題	人権全般、子ども、同和問題、障害者、外国人

2. 事業内容

(1)事業の目的 「人権教育推進のための調査研究事業」のモデル事業として、人権が尊重される「共に生きる」社会づくりに向け、各市町において推進されている活動の実践発表や情報交流を行い、住民が主体的に参加する学習プログラムの在り方について調査研究する。
---

(2)事業概要

- 多文化交流ステージ  
「東方文化芸術団」による中国の器楽演奏、歌、踊りの発表
- 実践事例の発表 人権に関する自主学習グループの取組に学ぶ  
(1)「岬町すこやかネット」の取組  
大阪府泉南郡岬町教育委員会指導室  
(2)鳥取県鳥取市「フォーラム江山」の取組  
鳥取県鳥取市「フォーラム江山」
- パネルディスカッション  
県民が主体的・能動的に参加する人権学習プログラムの在り方や指導者の養成のためのプログラムの在り方について考える  
テーマ:「参画と協働」に基づく主体的な人権学習の展開
- 講演と歌  
「私にはあなたが見えます」講師:歌手 舞妓町みず代

(2)-1 連携状況

(財)兵庫県人権啓発協会と共催

(2)-2 特色・工夫した点(広報の方法も含む)

- ・オープニングとして、多文化交流ステージを実施し、中国の文化(音楽、舞踊)を学ぶ機会を設けた。
- ・昨年度までは、県内の団体による実践事例発表だったが、近隣府県の取組を紹介することを採り入れた。
- ・視覚障害のある歌手のミニコンサート講演を最後に設定し、障害者問題を考えながら一体感をもってしめくった。

(3)参加者の反応・事業の反響等

【参加者の意見】

行政主導の活動だけで人権教育・啓発を推進していくには限界があり、人権学習に主体的に取り組むリーダー養成が大切であることがよくわかった。

【学習プログラムについて】

子どもの人権に関する学習については、地域の保育所、幼稚園、小・中学校と連携することによって具体的な課題に応じた計画を立てることができるとわかった。また、プログラム作成の段階から住民の参画を得ることによって、学習意欲を高め、主体的に学習を進めることができるようになることが確認できた。

【推進体制について】

行政は各種団体間のネットワーク化をコーディネートする役割を担うことが大事であると各市町に示すことができた。

【指導者について】

行政が推進したリーダー養成事業によって養成されたリーダーが中心になって自主的な活動を行っている取組から、今後の指導者養成とその活用について紹介することができた。

(3)-1 反省点・今後の課題

次年度は、再委託先におけるモデル事業の実践発表を計画し、学習機会、学習プログラム、指導者養成等について県下各市町へ発信していきたい。